

X-point

desknet's NEO 連携サービス 導入・設定ガイド

2026/02/01 版



はじめに

◆本書の目的

本書は、X-point と desknet's NEO をシングル・サインオン環境で利用する為に必要なシステムの設定、管理方法について説明しています。本書の内容を良くお読み頂いた上で運用を行ってください。

◆対象とする読者

本書は、新規に「X-point」と「desknet's NEO」のシングル・サインオン連携を設定する “ドメイン管理権限を持つユーザ” を対象としています。

◆対応バージョン (2026/02/01 時点)

X-point	desknet's	備考
X-point v3.13	「X-point Ver3 系動作環境一覧」をご確認ください。 https://www.atled.jp/document/xpoint/version_xpcloudv3.html	接続を ssl (https) で行う場合は、X-point Cloud の利用に「セキュリティ基本サービス」の契約が必要になります。

! 注意事項

- ※ 本機能の利用には、X-point の動作ライセンスに「desknet's NEO 連携サービス」が必要です。
- ※ サードパーティーCookie が利用できない場合は本機能のガジェット表示を利用する事はできません。但し、Chrome/Edge/Firefox ブラウザで Storage Access API が利用できる場合、ブラウザ操作者がコンテンツ使用を許可する事で本機能のガジェットが利用可能になります。許可指定の要否はガジェットを利用する際に行われ、ユーザによる使用許可の設定が必要であると判断された場合にガジェット表示位置に確認画面が表示されます。表示が許可された場合は 30 日以内に再利用する限り継続してガジェットが表示されます。30 日以内の利用が無い場合は再度コンテンツ使用の許可を求める表示が行われます。なお、ブラウザ側で許可を受け付けられない設定が行われている場合は変更できない事を示す表示が行われガジェット表示は行われません、ガジェット表示ができるように設定の変更を行ってください。

【設定項目】 2025/10/06 時点

- Chrome . . . 設定>プライバシーとセキュリティ>サードパーティーCookie
- Edge . . . 設定>Cookie とサイトのアクセス許可>保存された Cookie とデータ>Cookie とサイトのデータ管理と削除
- Firefox . . . 設定>プライバシーとセキュリティ>強化トラッキング防止機能

◆製品名について

本文中、「X-point サーバー」は「X-point」と表記しています。また、各製品の名称は対応バージョンを省略してある箇所もありますのでご了承ください。

◆商標について

本書の一部、または全部を著作権所有者の許諾なしに、商用目的の為に複製、配布することはできません。X-point、エクスポイントの名称およびロゴは株式会社エイトレッドの商標または登録商標です。Microsoft、MS-DOS、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Macintosh、Mac OS は Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。Adobe、Acrobat、Adobe Acrobat は Adobe Systems, Inc. の商標または登録商標です。ORACLE、Java、JavaScript は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。デスクネッツ、desknet's は株式会社ネオジャパンの登録商標です。サイボウズ、Cybozu はサイボウズ株式会社の登録商標です。チャットワーク、Chatwork は株式会社 kubell の登録商標です。

その他、記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する会社の商標または登録商標です。本書では、©、®、(TM) の表示を省略しています。ご了承ください。

◆製作著作

©2026 株式会社エイトレッド

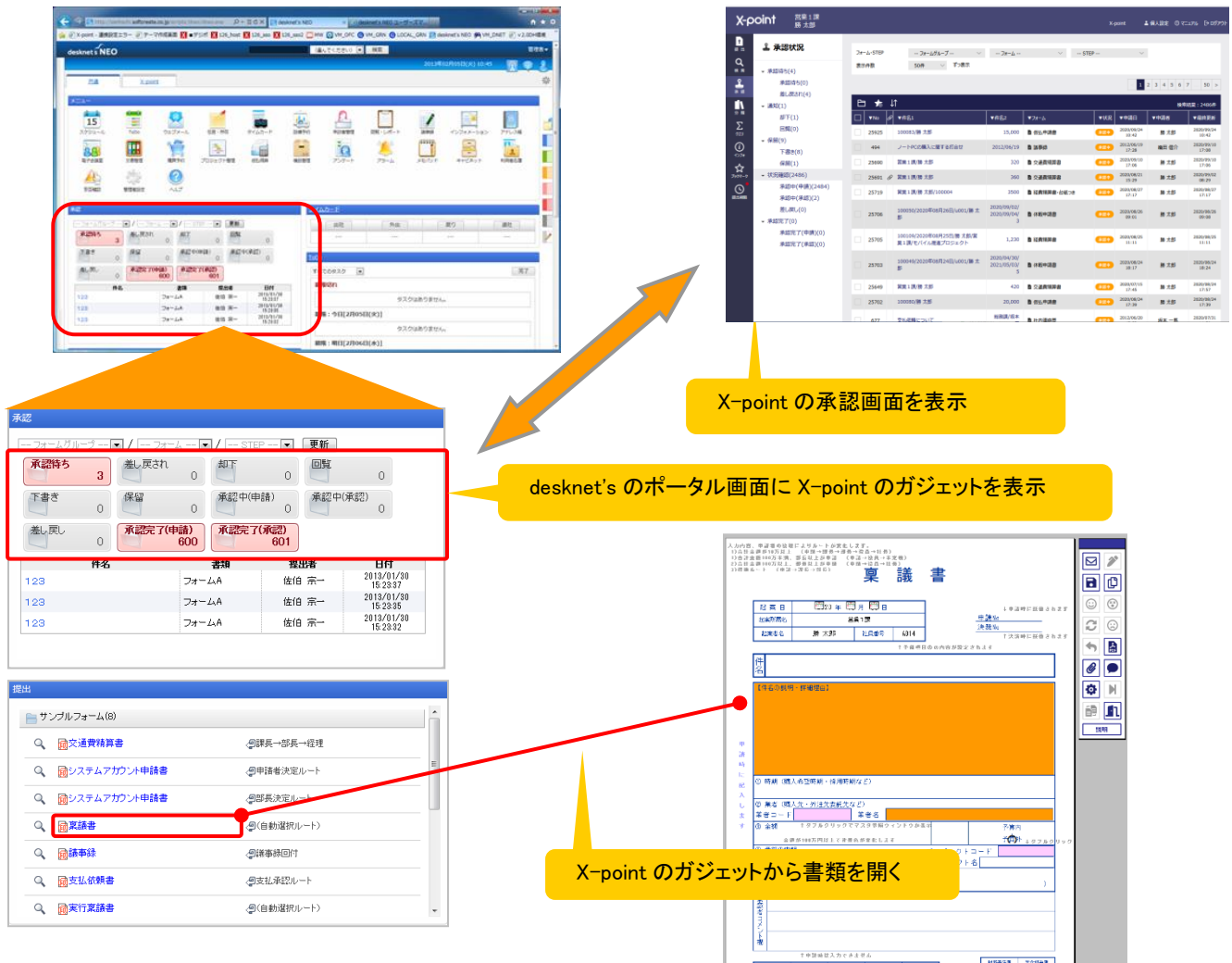
目次／索引

1.	X-point / desknet's NEO 連携の概要	4
1.1.	実現できる機能	4
1.2.	desknet's NEO 連携時の仕様	5
1.3.	作業の流れ (desknet's を新規インストールした場合)	7
1.4.	作業の流れ (desknet's をアップグレードした場合)	8
2.	事前準備(従来製品から desknet's NEO へアップグレードしたお客様向け)	9
2.1.	desknet's NEO の組織 ID と X-point のグループコードの紐付け	9
3.	ユーザ情報の一括取込	12
3.1.	desknet's NEO からユーザ設定情報の CSV 出力	12
3.2.	desknet's NEO から組織情報の CSV 出力	14
3.3.	X-point にユーザ・組織情報を CSV インポート	16
3.4.	インポート時の注意事項	18
3.4.1.	ユーザ・グループの取込基準	18
3.4.2.	ユーザ・グループの取込方式	18
4.	連携設定(X-point サーバーの設定)	19
4.1.	X-point の設定	19
5.	連携設定(「desknet's NEO」の設定)	22
5.1.	ガジェットの作成	22
5.2.	共通ポータルへのガジェット追加	27
5.3.	組織ポータルへのガジェット追加	29
5.4.	X-point 専用組織ポータルの作成	32
5.5.	desknet's ワークフローの解除	34
5.5.1.	desknet's NEO V1 の手順	35
5.5.2.	desknet's NEO V2 の手順	37
5.6.	サードパーティーCookie が利用できない場合の動作	39
6.	仕様	40
6.1.	CSV ファイルと X-point 対応項目	40
6.1.1.	ユーザ情報 CSV(user.csv)	40
6.1.2.	組織情報 CSV(group.csv)	40
6.2.	CSV インポートで登録されない X-point のユーザ、グループ、役職情報	41
6.2.1.	ユーザ情報	41
6.2.2.	ユーザグループ情報	41
6.2.3.	役職情報	41

1. X-point / desknet's NEO連携の概要

1.1. 実現できる機能

連携設定を行うことで desknet's NEO との間で実現できる機能について説明します。



1) シングルサインオン(SSO)

desknet's NEO と X-point の間でシングルサインオン(SSO)運用が可能になります。desknet's 製品にログインすると、連携設定された X-point 製品にはログインなしに入ることができ、X-point ログイン時の2重入力が不要になります。

2) desknet's NEO ポータルへのガジェット表示

X-point の「提出」「検索」「承認」「ブックマーク」「インフォメーション」「グラフ」を desknet's のポータル画面に組み込むことができます。

！ 注意事項

- desknet's NEO PC 版サイトのみの対応となります。
- X-point のガジェットは、ドメイン設定のユーザサイトメニュー利用制限の対象外となります。特定のガジェットを非表示にしたい場合は、グループウェア等で個別に制御してください。

1.2. desknet's NEO 連携時の仕様

desknet's NEO と連携する際の仕様について説明します。

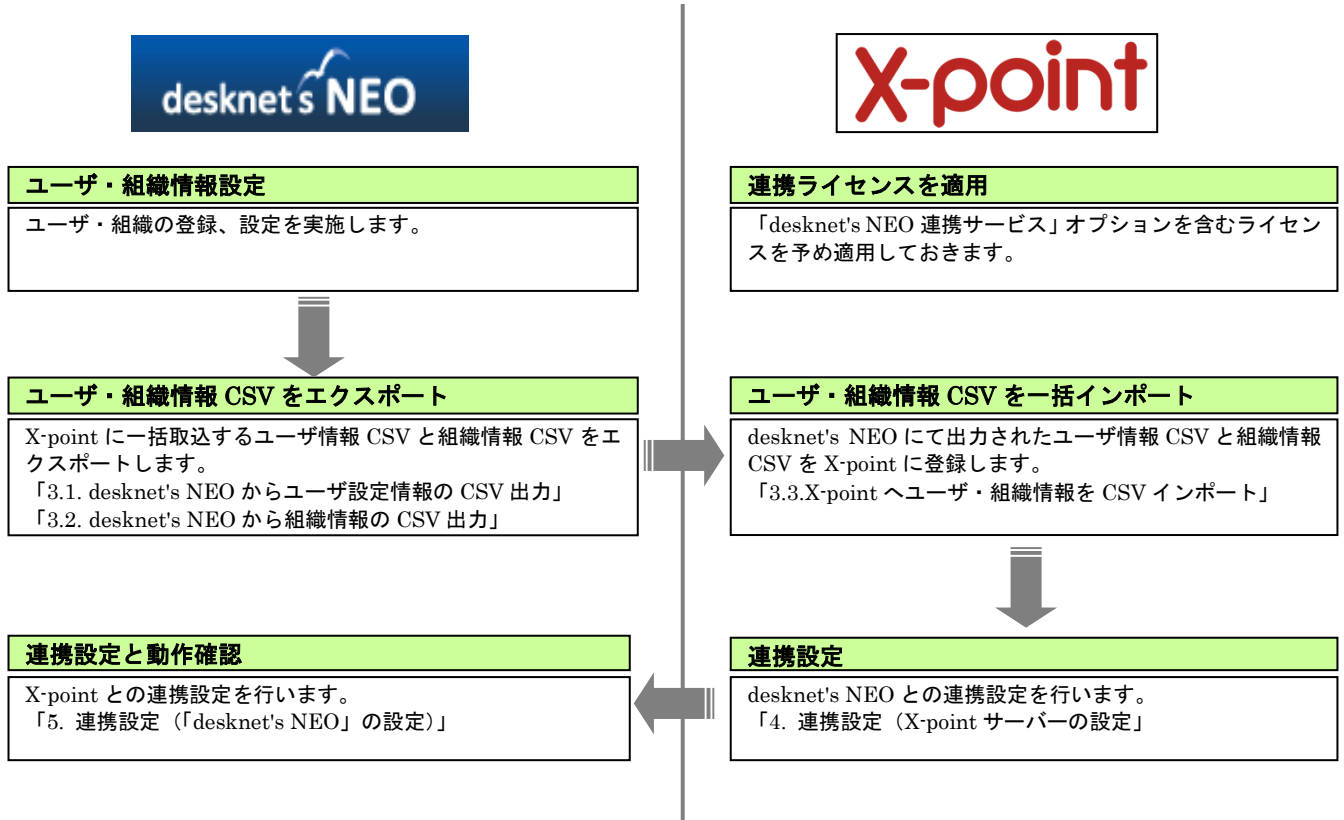
- 1) X-point に「desknet's NEO 連携サービス」が導入されていること。
desknet's NEO と連携させる場合、X-point サーバーに「desknet's NEO 連携サービス」が導入されている必要があります。
「desknet's NEO 連携サービス」の導入後は、連携させるドメインにおいて「SSO 連携設定」を“する”に指定しなければなりません。
- 2) X-point ドメインとの連携
連携設定は X-point ドメイン毎に一台の desknet's NEO サーバーが指定できます。
- 3) 一致しなければならないユーザ情報
 - ① [ログイン ID]
desknet's NEO の「ログイン ID」と X-point の「ログイン ID」が同じであるユーザは、desknet's NEO からのシングルサインオンが可能です。シングルサインオンはログイン ID を利用して行われる為、desknet's NEO の「ログイン ID」の登録を省略しているお客様は、シングルサインオンによる運用を開始するに当たり「ログイン ID」(*)を設定する必要があります。
 - ② [ユーザコード]
ユーザ情報は、X-point の「ユーザコード」と desknet's NEO の「システム ID(ユーザ)」をキーとしてマッピングします。
 - ③ [ユーザグループコード]
組織情報は、X-point の「ユーザグループコード」と desknet's NEO の「システム ID(組織)」をキーとしてマッピングします。

(*) ログイン ID は、英数字で構成される半角 100 文字以内の文字列である必要があります。
(*) desknet's NEO ユーザ情報の「システム ID」はユーザ情報を CSV ファイルに出力した際に確認できます。
(*) desknet's NEO 組織情報の「システム ID」は組織情報を CSV ファイルに出力した際に確認できます。
(*) desknet's NEO、X-point 共に、Microsoft Active Directory を利用する場合、Active Directory に関する設定を行った後に、desknet's NEO と X-point のユーザ情報の同期を行い Active Directory で管理されていない情報を一致させる必要があります。
(*) 後述する 1.2.(4)のユーザ・組織情報の一括取り込みを行わない場合は、X-point と desknet's NEO 間でユーザコード、ユーザグループコードを一致させる必要はございません。
- 4) ユーザ・組織情報の一括取込
desknet's NEO から出力した「ユーザ情報」「組織情報」の CSV ファイルを、X-point にインポートすることで、シングルサインオンに必要な情報を X-point に用意することができます。

【X-point へのインポートで一括設定できる情報】
 - ・ ユーザ
 - ・ 組織
 - ・ 役職
- 5) X-point 側のパスワード設定
desknet's NEO と X-point のパスワードは必ずしも一致させる必要はありません。ただし、一致していない場合は次の設定、制限が発生します。
 - ① X-point の「SSO 連携設定」において“パスワード認証”、“ログイン許可”を“しない”に設定し、フロント画面へのログインを禁止する必要があります。
(パスワードが“****”となり ID さえわかれば誰でもログインできてしまいます。
“****”は desknet's NEO の出力する CSV ファイルに指定されている文字列です。)
 - ② X-point 単独での利用はできません。(①でログイン許可をしないため)
- 6) eFormMaker に接続するユーザのパスワード
X-point に登録するユーザ情報を desknet's NEO からのインポートのみで行うような場合、パスワードには“*****”のようなアスタリスクが連続する文字列が設定されます。その場合、X-point 側では“ログイン許可”を“しない”に設定されているため eFormMaker からのログイン指定ができなくなってしまいます。
その場合、eFormMaker に接続する各ユーザは X-point フロントサイトの【個人設定】→【ユーザプロフィールの変更】からパスワードを変更しておく必要があります。
 - ※ Active Directory と連携動作している場合は、パスワード変更の必要はありません。
 - ※ Active Directory と連携動作している場合は、パスワード変更欄が表示されません。
- 7) 通知メールからの書類表示
通知メールの書類 URL から書類を開くためには、X-point にログインした状態である必要があります。
desknet's NEO のポータル画面で、X-point の画面を表示すると以後タイムアウトが発生する迄の間、X-point にログインした状態になりますので、通知メールから書類を開くことができます。

1.3. 作業の流れ(desknet's を新規インストールした場合)

desknet's NEO と X-point の連携設定を初めて行う場合に必要手順の概略を示します。

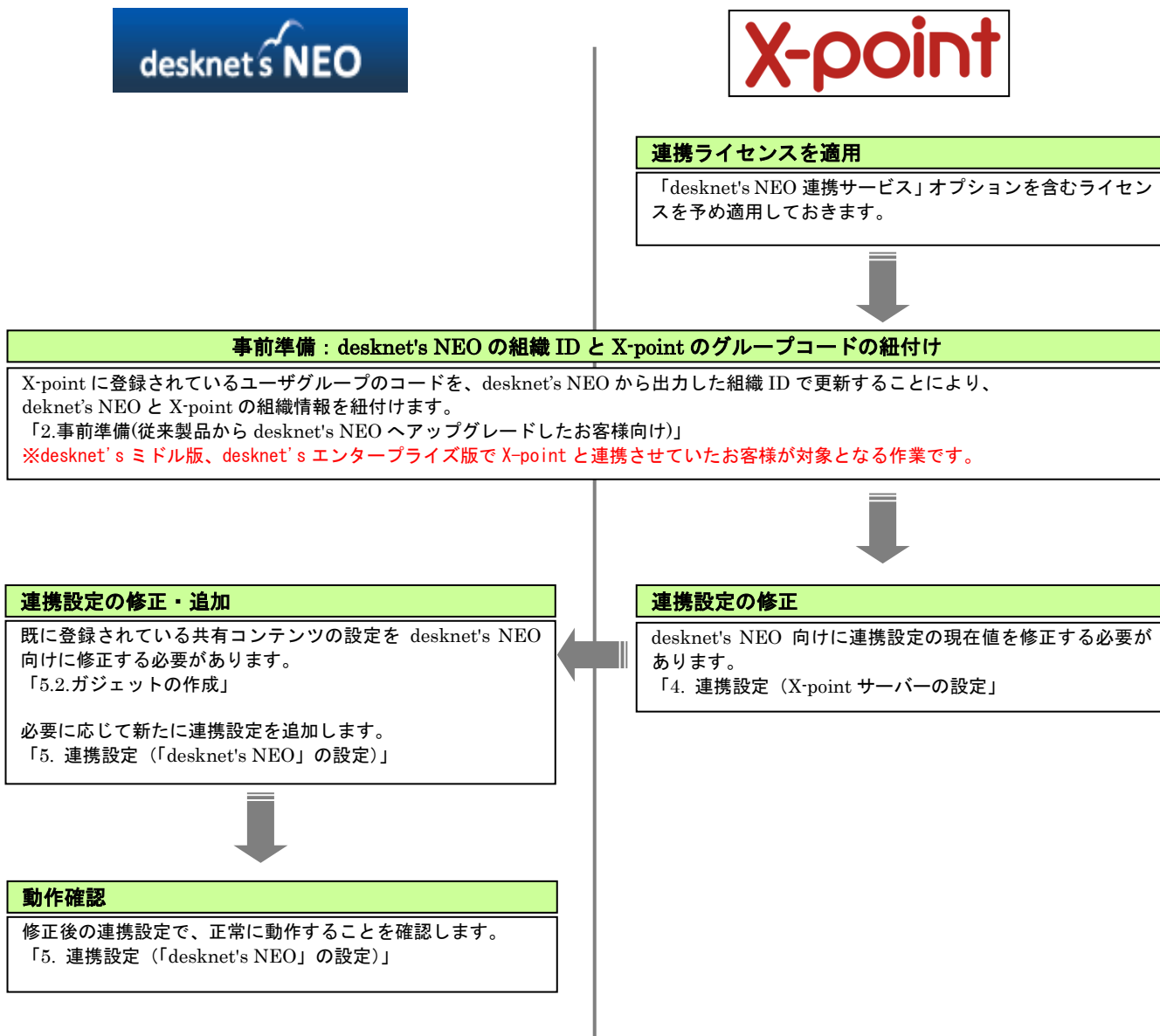


1.4. 作業の流れ(desknet's をアップグレードした場合)

desknet's スタンダード版、desknet's ミドル版、desknet's エンタープライズ版を desknet's NEO にアップグレードした場合に必要な設定手順の概略を示します。

！注意事項

desknet's ミドル版、desknet's エンタープライズ版で X-point と連携する際に、desknet's と X-point の組織を desknet's で出力する CSV ファイルに含まれる「組織コード」で紐付けが行われていましたが、desknet's NEO からは「ID(システムID:自動発番)」で紐付けを行う動作になりました。引き続き一括取込でユーザ・組織情報を更新する為に、X-point に既に登録されているグループの「ユーザグループコード」を「ID(システムID:自動発番)」と関連付ける作業が必要となります。




2. 事前準備(従来製品からdesknet's NEOへアップグレードしたお客様向け)

2.1. desknet's NEO の組織 ID と X-point のグループコードの紐付け

本項で説明する手順は **desknet's ミドル版、desknet's エンタープライズ版で X-point と連携させていた**お客様が対象となります。
desknet's スタンダード版からアップデートした場合、初めてユーザ・組織情報の一括取込を実施する場合、本項の作業を既に行っていた場合は必要ありません。次項に進めて下さい。

desknet's ミドル版、desknet's エンタープライズ版で X-point と連携する際に、desknet's と X-point の組織を desknet's で出力する CSV ファイルに含まれる「組織コード」で紐付けが行われていましたが、desknet's NEO からは「ID(システムID:自動発番)」で紐付けを行う動作になりました。

その為、一括取込でユーザ・組織情報を更新する場合は、X-point に既に登録されているグループの「ユーザグループコード」を「ID(システムID:自動発番)」と関連付ける作業が必要となります。

- 1) ユーザ・レベルが“システム管理者”であるユーザでログインします。
- 2) “管理者設定”より管理画面に入り  →“運用設定”→“組織設定”→“組織情報のエクスポート”を開きます。

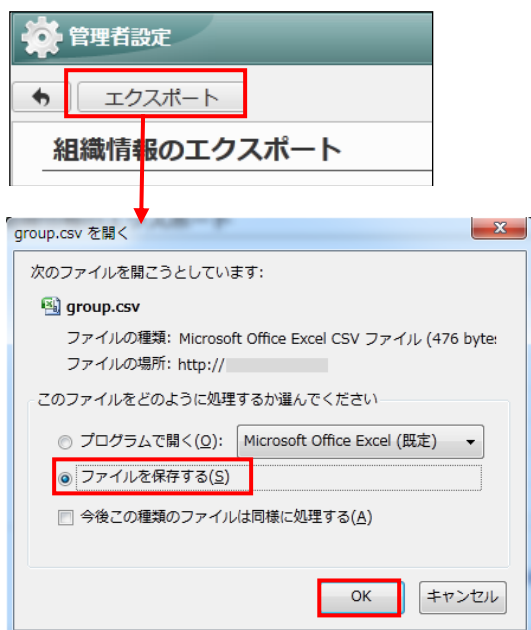


- 3) “親組織”項目の値、“文字コードと区切り文字”を設定します。



項目名	説明
「親組織」項目の値	“組織システム ID”を選択します。
文字コードと区切り文字	文字コード:シフト JIS 区切り文字:カンマ

- 4) 「エクスポート」ボタンをクリックし、組織情報 CSV ファイル(group.csv)を保存します。



- 5) “ユーザ管理”権限を持つユーザ、もしくはスーパーユーザ(su)でログインし、「ユーザ管理」→「ユーザグループ一覧」に遷移します。

- 6) ユーザグループを選択します。ここでは仮に「営業部」を選択して説明します。
【ユーザグループ修正画面】



- 7) Microsoft Excel やテキストエディタで組織情報 CSV (group.csv)を開いて「ID(システムID: 自動発番)」を確認します。

削除フラグ	ID(システムID: 自動発番)	組織名	企業内組織コード	連絡先	メモ	親組織
0	*1	管理部	G001	03-..		*1
0	*2	営業部	G010	03-..		*2
0	*3	営業一課	G011	03-..		
...

営業部のシステム ID は 「2」

8) X-point のユーザグループ修正画面で「ユーザグループコード」をシステム ID に変更して保存します。

ユーザ管理 → 組織 → ユーザグループ → 役職 → ユーザ → インポート → エクスポート

ユーザグループ修正 一覧 + 作成

グループ情報を修正します。

→ このユーザグループが登録されている設定

基本情報	
組織名	(現在組織) 株式会社
ユーザグループ名称	営業部
カ	エイギョウブ
ユーザグループコード	2 <small>半角英数100文字以内 (インポート時にユーザグループを指定するキーになります。)</small>
親ユーザグループ	株式会社いっと商事
備考	

「2」を入力します。
※先頭の「*」は省略します。

9) ユーザグループの件数分 2) ~ 3) の手順を繰り返します。

3. ユーザ情報の一括取込


この章では desknet's NEO のユーザ情報、組織情報を CSV に出力して X-point に一括取込(インポート)する手順を説明します。

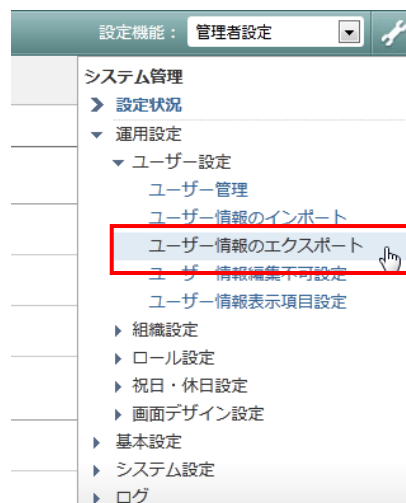
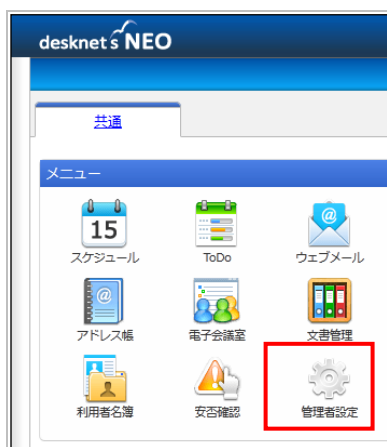
！注意事項

desknet's ミドル版、desknet's エンタープライズ版で X-point と連携させていたお客様の場合は事前準備が必要です。「2.事前準備(従来製品から desknet's NEO へアップグレードしたお客様向け)」の章を参照し、作業を実施して下さい。事前準備を実施せずに X-point に CSV インポートした場合、ユーザグループ情報が正常に更新できません。

3.1. desknet's NEO からユーザ設定情報の CSV 出力

desknet's NEO に登録されているユーザ情報の CSV 出力は“管理者設定”画面より以下の手順で行います。

- 1) ユーザ・レベルが“システム管理者”であるユーザでログインします。
- 2) “管理者設定”より管理画面に入り  →“運用設定”→“ユーザ設定”→“ユーザ情報のエクスポート”を開きます。



- 3) 「規定値に戻す」ボタンをクリックします。



(※)X-point のユーザインポート機能は“規定の項目順”で出力した CSV ファイルのみ取り込むことができます。


- 4) 「所属組織」項目の値、「エクスポート対象」、「文字コードと区切り文字」を設定します。

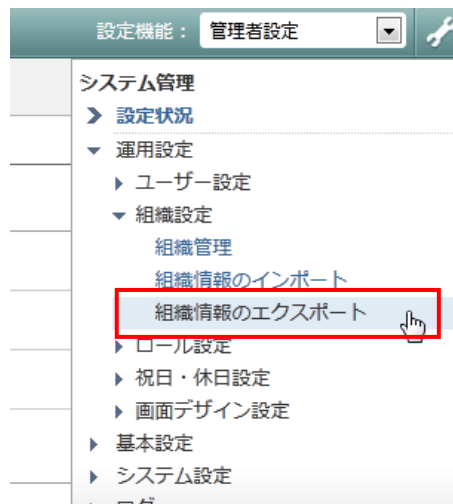
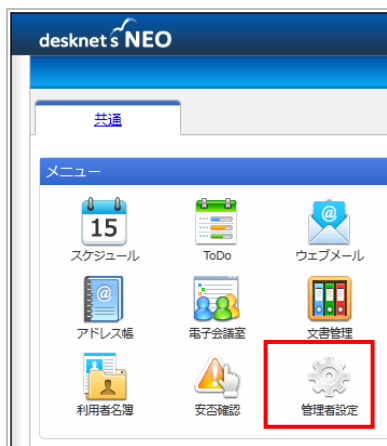
項目名	説明
「所属組織」項目の値	“組織システム ID”を選択します。
エクスポート対象	エクスポートする組織を選択します。 全ての情報を出力する場合は、組織選択で“(全て)”を選択して下さい。特定のユーザ情報を出力する場合は、“X-point 利用グループ”に所属するよう設定しておくこと CSV ファイルの作成を楽に行うことができます。
文字コードと区切り文字	文字コード:シフト JIS 区切り文字:カンマ

- 5) 「エクスポート」ボタンをクリックし、ユーザ情報 CSV ファイル(user.csv)を保存します。

3.2. desknet's NEO から組織情報の CSV 出力

desknet's NEO に登録されている組織情報の CSV 出力は“管理者設定”画面より以下の手順で行います。

- 1) ユーザ・レベルが“システム管理者”であるユーザでログインします。
- 2) “管理者設定”より管理画面に入り  →“運用設定”→“組織設定”→“組織情報のエクスポート”を開きます。



- 3) 「規定値に戻す」ボタンをクリックします。



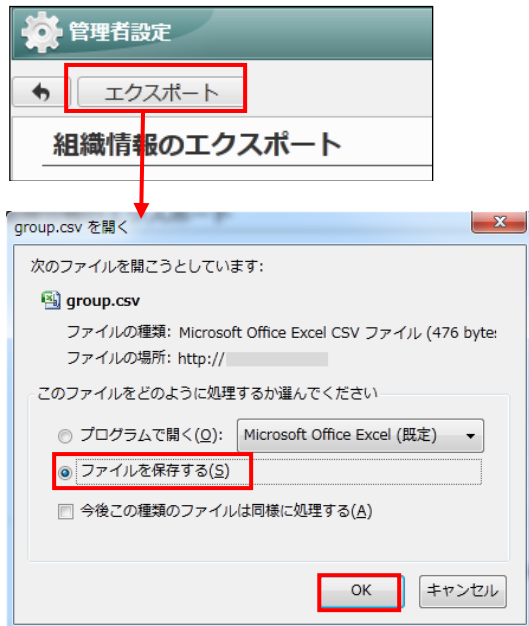
(※) X-point のユーザインポート機能は“規定の項目順”で出力した CSV ファイルのみ取り込むことができます。

4) “親組織”項目の値”、“文字コードと区切り文字”を設定します。



項目名	説明
「親組織」項目の値	“組織システム ID”を選択します。
文字コードと区切り文字	文字コード:シフト JIS 区切り文字:カンマ

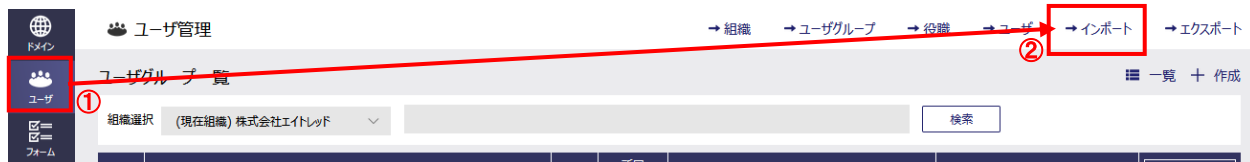
5) 「エクスポート」ボタンをクリックし、組織情報 CSV ファイル(group.csv)を保存します。



3.3. X-point にユーザ・組織情報を CSV インポート

desknet's NEO より出力した、ユーザ情報 CSV ファイル、組織情報 CSV ファイルを X-point に取り込みます。

- 1) “ユーザ管理”権限を持つユーザ、もしくはスーパーユーザ(su)でログインします。
スーパーユーザでログインした場合は、CSV ファイルを取り込むドメインに移動します。
- 2) “ユーザ”→“インポート”を順にクリックします。



- 3) “CSV フォーマット”を指定し、desknet's から出力したユーザ情報 CSV ファイル、組織情報 CSV ファイルを指定します。



項目名	説明
CSV フォーマット	“desknet's NEO” あるいは “desknet's NEO V7.5”を選択します。
文字コード	CSV ファイルの文字コードに該当するものを選択します
ユーザ情報 CSV	desknet's NEO から出力したユーザ情報 CSV ファイル(user.csv)を選択します。
グループ情報 CSV	desknet's NEO から出力した組織情報 CSV ファイル(group.csv)を選択します。
インポート方式	CSV のデータでユーザやグループの情報を置き換える場合は「完全に置き換える」を選択します。 CSV のデータに該当するユーザやグループのみ追加・更新する場合は「差分更新」を選択します。
プレビュー	“表示する”を選択します。

(※) desknet's NEO V7.1 迄と V7.5 以降でユーザ情報 CSV のフォーマットが異なります。オンプレミス版 desknet's NEO をご利用の場合、利用中の desknet's NEO のバージョンを確認し CSV フォーマットを指定してください。

(※) ユーザ情報 CSV、グループ情報 CSV のいずれか一方のみの指定でもインポート実行は可能です。
一方のみを指定した場合、指定しなかった方のデータは現在の情報が維持されます。

ただし、ユーザ情報 CSV のみの場合であっても、所属部署情報は desknet's NEO の設定で更新されます。

(※) CSV フォーマットを間違えるとユーザ情報が正しく更新されません。インポート実行の際は十分に注意して実行してください。

4) 【インポート】ボタンをクリックします。

5) インポートが完了すると実行結果が表示されます。

👤 ユーザ管理 → 組織 → ユーザグループ → 役職 → ユーザ → インポート → エクスポート

ユーザインポート

ユーザインポート処理が完了しました。以下、インポート処理結果の一覧とログ情報です。

所要時間：0.272秒

ユーザ情報		インポートログ	
全件数	23件	[ログ出力設定：OFF]	
新規登録件数	0件		
更新件数	23件		

グループ情報	
全件数	14件
新規登録件数	0件
更新件数	14件

ユーザ/グループ所属情報	
全件数	28件
新規登録件数	28件
更新件数	0件

役職情報	
全件数	0件
新規登録件数	0件
更新件数	0件

3.4. インポート時の注意事項

3.4.1. ユーザ・グループの取込基準

desknet's NEO のユーザ・組織情報 CSV ファイルを取り込む場合、CSV ファイルに出力されているシステム ID を X-point のユーザコード、グループコードとして利用します。

desknet's のユーザ・組織情報 CSV ファイルを再取り込みする場合、CSV ファイルのシステム ID がユーザコード、ユーザグループコードと一致する場合は“更新”、一致するものがない場合は“追加”として扱われます。

3.4.2. ユーザ・グループの取込方式

ユーザ情報、グループ情報を X-point に取り込む時にインポート方式「完全に置き換える」を選択した場合、必ず全ユーザ情報を一括で取り込みます。差分取り込みとはなりません。差分インポートを行うと以下のような現象が発生します。

- ① インポートファイルに含まれないユーザは全て削除されます。
- ② インポートファイルに含まれないユーザグループは全て削除されます。

誤って削除してしまうと元に戻す方法がありません。差分インポートを行う場合はインポート方式「差分更新」を選択してインポートしてください。

4. 連携設定 (X-pointサーバーの設定)

「desknet's NEO」より X-point にシングルサインオンを行う場合の設定例を説明します。

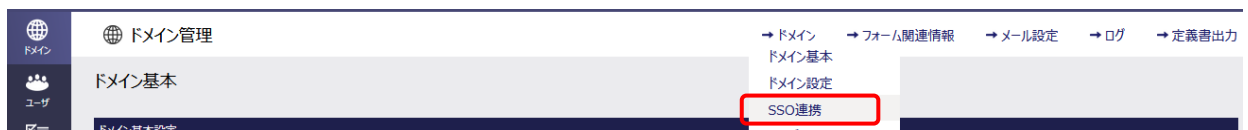
！注意事項

従来製品から desknet's NEO にアップグレードしたお客様の場合、desknet's へのアクセス URL が以前と異なるため、連携情報の再設定が必要です。本章を御一読いただき、設定値を desknet's NEO に最適化してください。

従来製品から desknet's NEO にアップグレードしたお客様も連携情報の再設定が必要です。

4.1. X-point の設定

- 1) ドメイン管理権限のあるユーザで管理者サイトにログインし「ドメイン」→「ドメイン設定変更」を表示し、基本情報欄の“SSO 連携設定”をクリックします。



- 2) “SSO 連携設定”画面に連携先となる「desknet's」の情報を登録します。

「desknet's NEO 連携サービス」を導入している場合は、基本情報とパラメータの間に「desknet's NEO」ボタンが表示されます。このボタンをクリックすると、URL、リファラーのサーバ名を示す部分を除き主だったパラメータが設定されます。

A screenshot of the 'SSO連携設定' (SSO Link Settings) page for 'desknet's NEO'. The page shows various settings for SSO integration. The 'SSO連携' (SSO Link) radio button is checked. The 'リファラーチェック' (Referrer Check) radio button is checked. The 'リンク画像' (Link Image) section has '指定しない' (Do not specify) selected. The 'リンク代替テキスト' (Link Alternative Text) is 'desknet's'. The 'スコープ' (Scope) is 'Request'. The 'パスワード認証' (Password Authentication) radio button is checked. The 'ログアウト許可' (Logout Permission) radio button is checked. The 'パスワード変更禁止' (Password Change Prohibition) radio button is checked. The 'ログアウト表示' (Logout Display) radio button is checked. The 'desknet's NEO' button is highlighted. Below the settings is a table of parameters for the integration.

No	パラメータ名	マップキー	MD	Decode	値	追加	削除
1	domainCd	ドメインコード	Plain	Plain	sample	+	✖
2	LoginId	ログインID	Plain	Plain		+	✖
3	Password	パスワード	Plain	Plain		+	✖
4	Forward	ポートレット	Plain	Plain		+	✖

※マップキーの「ドメインコード」、「ログインID」は必須項目となります。
※MD(メッセージエンジェスト)は「ログインID」のみ指定できます。他は全てPlainになります。
※Decodeで「Auto」を指定した場合は、GET動作であると判断できた場合のみDecode動作を行います。
※認証キーは定期的に変更するようにしてください。
※認証キーを複数指定した場合は、指定パラメータすべての値が一致する場合にSSO動作が行われます。
※認証キーに設定する値は1文字以上64文字以下で指定します。

パラメータを元に戻す 保存

- ※ 赤枠内の指定は必須です。赤枠以外の指定は必要に応じて行います。
- ※ 認証キー1～4は必須ではありませんが、利用することでセキュリティ性が向上します。
- ※ 認証キー1～4の値に全角文字は使用できません。
- ※ 画面中断の「desknet's」ボタンを利用すると URL の IP 名 (もしくはホスト名) 部以外が推奨値で設定されます。

【基本情報】

- SSO 連携
“する”を指定し SSO 動作を有効にします。
- 戻り先 URL
「desknet's NEO」の URL を指定します。通常、次のような指定になります。

《「desknet's NEO」が Windows サーバーの IIS で動作する場合》
`http://nnn.nnn.nnn.nnn/scripts/dneo/dneo.exe?`

《「desknet's NEO」が Linux サーバーで動作する場合》
`http://nnn.nnn.nnn.nnn/cgi-bin/dneo/dneo.cgi?`

※`nnn.nnn.nnn.nnn` 部分は「desknet's」がインストールされているサーバーの IP 名もしくは、
完全修飾ドメイン名 (FQDN、`desknet.atled.jp` など) を指定します。
※利用される desknet's NEO 製品により、URL が異なる場合がありますので注意してください。

X-point のユーザフロント画面上部に表示されるクリックした連携元に戻る際の URL になります。

- ログアウト遷移先 URL
「desknet's NEO」では利用できません。空欄にしてください。
未入力の場合は、X-point 側のログオフのみが実行され、X-point のログオフ画面が表示されます。
- リファラーチェック
“する”を指定します。通常、指定例のような指定になります。
“しない”を指定した場合、連携元以外からアクセスした場合にもポートレットが表示できる場合があります。

【指定例】

《「desknet's NEO」が Windows サーバーの IIS で動作する場合》
`http://nnn.nnn.nnn.nnn/scripts/dneo/dneo.exe.*`

《「desknet's NEO」が Linux サーバーで動作する場合》
`http://nnn.nnn.nnn.nnn/cgi-bin/dneo/dneo.cgi.*`

- ※ `nnn.nnn.nnn.nnn` 部分は「desknet's NEO」がインストールされているサーバーの IP 名もしくは、
完全修飾ドメイン名 (FQDN、`desknet.atled.jp` など) を指定します。
- ※ 利用される desknet's NEO 製品により、URL が異なる場合がありますので注意してください。
- ※ ブラウザの仕様により、HTTPS ページから HTTP ページへのリンクではリファラーヘッダーが送信されません。
リファラーチェックを実施する際はプロトコルを一致させる必要があります。
- ※ 端末やブラウザの仕様により、送信されるリファラーに FQDN 以降の URL が含まれない場合があります。
一部の端末やブラウザでリファラーチェックエラーが発生する場合は、以下のように FQDN のみでチェックする
ことを検討してください。

【指定例】

《FQDN のみでチェックする場合》
`http://nnn.nnn.nnn.nnn(*)`

- リンク画像
X-point より「desknet's NEO」に戻るメニューに画像を指定する場合に指定します。
- リンク代替テキスト
X-point より「desknet's NEO」に戻るメニューに画像を利用しない場合に指定します。
- スコープ
“Request”を指定します。
- パスワード認証
“しない”を指定します。
desknet's NEO からエクスポートしたユーザ情報を X-point に取り込んだ場合、パスワードが未設定状態となりますので、X-point にパスワード認証でログインすることができません。そのような場合は“しない”を指定します。
“する”を指定した場合、X-point 側にもユーザのパスワードが登録されている状態にするか、Active Directory との連携設定がされている必要があります。

- ログイン許可
“しない”を指定します。
“しない”を指定すると連携するドメインに X-point のログイン画面よりログインができなくなります。
“する”を指定すると連携するドメインに X-point のログイン画面よりログインができるようになりますが、X-point 側にもパスワードが指定されている必要があります。

※ 「desknet's NEO」から出力したユーザ情報 CSV を X-point に取り込んだ場合、「desknet's NEO」が作成する CSV ファイルにはパスワードがセットされていないので、X-point 側で再度パスワードを設定し直す必要があります。

- ログアウト表示
“しない”を指定します。
“する”に設定した場合はログアウト遷移先 URL に指定したアドレスに遷移します。

【パラメータ】

連携動作の際に必要な情報を受け取るパラメータを指定します。「desknet's NEO」側に指定する。

パラメータ名と合わせる必要があります。

- domainCd
連携先のドメイン名(この情報を設定しているドメインコード)を受け取る際に利用するパラメータ名
- LoginId
ログイン ID を受け取る際に利用するパラメータ名
- Passwd
パスワードを受け取る際に利用するパラメータ名
- Forward
ポートレットのタイプを指定する際に利用するパラメータ名

5. 連携設定(「desknet's NEO」の設定)


ここでは、X-point と desknet's NEO の連携を実現するために必要な「desknet's NEO」で行う設定について説明します。

！注意事項

従来製品から desknet's NEO にアップグレードしたお客様の場合、共有コンテンツの作成やポータルへの追加が既に完了している場合がございますが、共有コンテンツの設定値が以前と異なるため、共有コンテンツの設定変更が必要です。「5.2.ガジェットの作成」の項を御一読いただき、設定値を desknet's NEO に最適化してください。

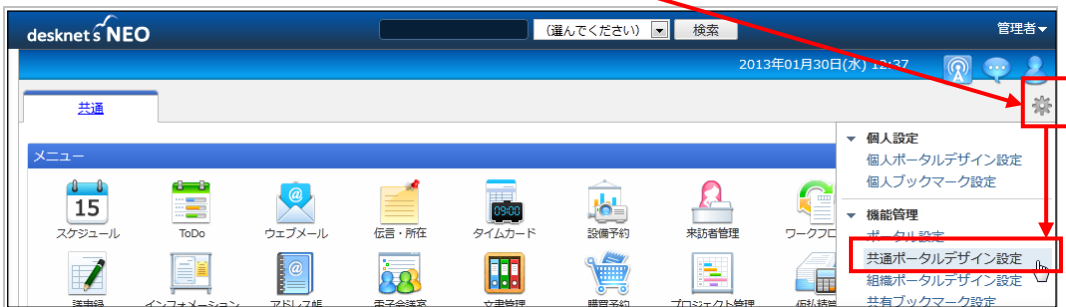
5.1. ガジェットの作成

ポートレットのレイアウトに X-point のガジェットを登録できるようにガジェットの作成を行います。利用できるガジェットは(提出/承認/検索/ブックマーク/インフォメーション/グラフ)の6種類です。

- 1) ユーザ・レベルが“システム管理者”であるユーザでログインします。
- 2) 設定はトップ画面の  より →“共通ポータルデザイン設定”を開きます。



“ロゴ”部分をクリックします。(トップ画面に移動します)



- 3) 「自由形式」→「共有コンテンツ作成」をクリックします。



- ※ すでにコンテンツが登録されている場合は、共有コンテンツ作成ではなく一覧表示されている中から目的のガジェットを選び、登録内容の修正を行います。
- ※ 例では『共通ポータルデザイン設定』から登録を行っていますが、コンテンツ自体は全体で共通に登録されます。

4) 共有コンテンツの作成を行い、「保存」ボタンをクリックします。

例として 承認ガジェット の登録を行います。

項目	
種別	「URL」
タイトル	「承認」
URL	<p>http://{subdomain}.atledcloud.jp/xpoint/ssologin.do?domainCd=domainName&LoginId=\$UID&Passwd=\$PWD&Forward=wkfl</p> <p>※「http://{subdomain}.atledcloud.jp/xpoint/」の部分は実際の URL に合わせてください。 ※「domainName」は実際に利用するドメインコードに合わせてください。 ※ パスワード認証をしない場合「&Passwd=\$PWD」は不要です。</p>
フレームの高さ	<p>「300」(ピクセル)</p> <p>※最適な高さはポートレットのレイアウトによって変化します。 実際に表示するレイアウトに合わせて高さを微調整してください。</p>
シングルサインオン	「行う」
送信方式	<p>「POST」を指定します。</p> <p>※ 項目が無いバージョンの desknets NEO では指定不要です。</p>
説明	<p>必要に応じて指定します。</p> <p>【例】 X-point のワークフロー表示ガジェットです。承認待ちなどの件数を表示します。</p>

※ 「SSO 連携設定」画面下部の【desknet's NEO】をクリックすると設定例が表示されます。設定作業の参考にしてください。

承認ガジェット以外の設定値は以下のようになります。

【提出】

項目	
種別	「URL」
タイトル	「提出」
URL	<p>http://{subdomain}.atledcloud.jp/xpoint/ssologin.do?domainCd=domainName&LoginId=\$UID&Passwd=\$PWD&Forward=formLibrary</p> <p>※「http://{subdomain}.atledcloud.jp/xpoint/」の部分は実際の URL に合わせてください。 ※「domainName」は実際に使用するドメインコードに合わせてください。 ※ パスワード認証をしない場合「&Passwd=\$PWD」は不要です。</p>
フレームの高さ	<p>「300」(ピクセル)</p> <p>※最適な高さはポートレットのレイアウトによって変化します。 実際に表示するレイアウトに合わせて高さを微調整してください。</p>
シングルサインオン	「行う」
送信方式	<p>「POST」を指定します。</p> <p>※ 項目が無いバージョンの desknets NEO では指定不要です。</p>
説明	<p>必要に応じて指定します。</p> <p>【例】 X-point で提出可能なフォーム一覧を表示します。</p>

※ 「SSO 連携設定」画面下部の【desknet's NEO】ボタンをクリックすると設定例が表示されます。
 設定作業の参考にしてください。

【検索】

項目	
種別	「URL」
タイトル	「検索」
URL	<p>http://{subdomain}.atledcloud.jp/xpoint/ssologin.do?domainCd=domainName&LoginId=\$UID&Passwd=\$PWD&Forward=finder</p> <p>※「http://{subdomain}.atledcloud.jp/xpoint/」の部分は実際の URL に合わせてください。 ※「domainName」は実際に使用するドメインコードに合わせてください。 ※ パスワード認証をしない場合「&Passwd=\$PWD」は不要です。</p>
フレームの高さ	<p>「160」(ピクセル)</p> <p>※最適な高さはポートレットのレイアウトによって変化します。 実際に表示するレイアウトに合わせて高さを微調整してください。</p>
シングルサインオン	「行う」
送信方式	<p>「POST」を指定します。</p> <p>※ 項目が無いバージョンの desknets NEO では指定不要です。</p>
説明	<p>必要に応じて指定します。</p> <p>【例】 X-point で提出・承認中の書類を検索します。</p>

※ 「SSO 連携設定」画面下部の【desknet's NEO】ボタンをクリックすると設定例が表示されます。
 設定作業の参考にしてください。

【ブックマーク】

項目	
種別	「URL」
タイトル	「ブックマーク」
URL	<p>http://{subdomain}.atledcloud.jp/xpoint/ssologin.do?domainCd=domainName&LoginId=\$UID&Passwd=\$PWD&Forward=bookmark</p> <p>※「http://{subdomain}.atledcloud.jp/xpoint/」の部分は実際の URL に合わせてください。 ※「domainName」は実際に使用するドメインコードに合わせてください。 ※ パスワード認証をしない場合「&Passwd=\$PWD」は不要です。</p>
フレームの高さ	<p>「300」(ピクセル)</p> <p>※最適な高さはポートレットのレイアウトによって変化します。 実際に表示するレイアウトに合わせて高さを微調整してください。</p>
シングルサインオン	「行う」
送信方式	<p>「POST」を指定します。</p> <p>※ 項目が無いバージョンの desknets NEO では指定不要です。</p>
説明	<p>必要に応じて指定します。</p> <p>【例】 X-point でブックマーク処理をした書類などのリストを表示します。</p>

※ 「SSO 連携設定」画面下部の【desknet's NEO】ボタンをクリックすると設定例が表示されます。
 設定作業の参考にしてください。

【インフォメーション】

項目	
種別	「URL」
タイトル	「インフォメーション」
URL	<p>http://{subdomain}.atledcloud.jp/xpoint/ssologin.do?domainCd=domainName&LoginId=\$UID&Passwd=\$PWD&Forward=information</p> <p>※「http://{subdomain}.atledcloud.jp/xpoint/」の部分は実際の URL に合わせてください。 ※「domainName」は実際に使用するドメインコードに合わせてください。 ※ パスワード認証をしない場合「&Passwd=\$PWD」は不要です。</p>
フレームの高さ	<p>「200」(ピクセル)</p> <p>※最適な高さはポートレットのレイアウトによって変化します。 実際に表示するレイアウトに合わせて高さを微調整してください。</p>
シングルサインオン	「行う」
送信方式	<p>「POST」を指定します。</p> <p>※ 項目が無いバージョンの desknets NEO では指定不要です。</p>
説明	<p>必要に応じて指定します。</p> <p>【例】 X-point で登録したドメインインフォメーション情報を表示します。</p>

※ 「SSO 連携設定」画面下部の【desknet's NEO】ボタンをクリックすると設定例が表示されます。
 設定作業の参考にしてください。

【グラフ】

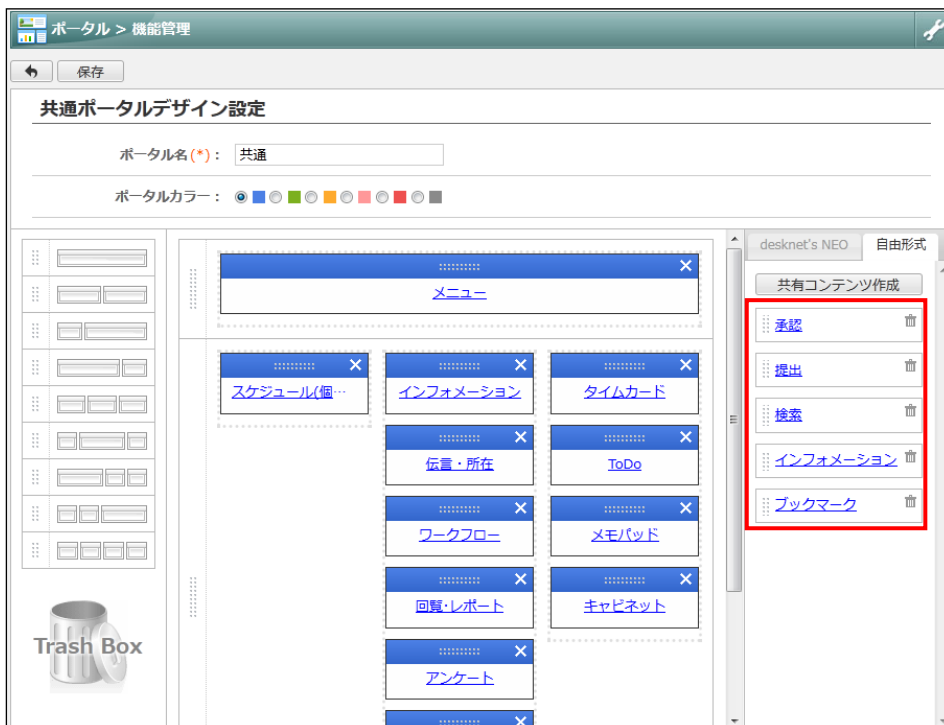
項目	
種別	「URL」
タイトル	任意の名称を指定します。
URL	<p>http://{subdomain}.atledcloud.jp/xpoint/ssologin.do?domainCd=domainName&LoginId=\$UID&Passwd=\$PWD&Forward=queryChart-<i>queryCd</i></p> <p>※「http://{subdomain}.atledcloud.jp/xpoint/」の部分は実際の URL に合わせてください。 ※「domainName」は実際に使用するドメインコードに合わせてください。 ※「queryCd」はグラフを表示させるクエリのクエリコードに合わせてください。 ※ パスワード認証をしない場合「&Passwd=\$PWD」は不要です。</p>
フレームの高さ	任意 (ピクセル) ※最適な高さはポートレットのレイアウトによって変化します。 実際に表示するグラフ画像の高さやレイアウトに合わせて高さを微調整してください。
シングルサインオン	「行う」
送信方式	「POST」を指定します。 ※ 項目が無いバージョンの desknets NEO では指定不要です。
説明	必要に応じて指定します。 【例】 X-point で登録したクエリ(サマリ・クロス集計)のグラフを表示します。

※ 「SSO 連携設定」画面下部の【desknet's NEO】ボタンをクリックすると設定例が表示されます。設定作業の参考にしてください。

！ 注意事項

異なる「queryCd」を指定して複数のグラフポートレットを追加することが可能ですが、大量の書類に対して検索するような処理の重いクエリのグラフポートレットを複数登録した場合、X-point の処理の実行に必要なメモリ量が増加し、パフォーマンスの低下を招く可能性があります。

5) 登録を完了するとコンテンツ一覧に表示されます。




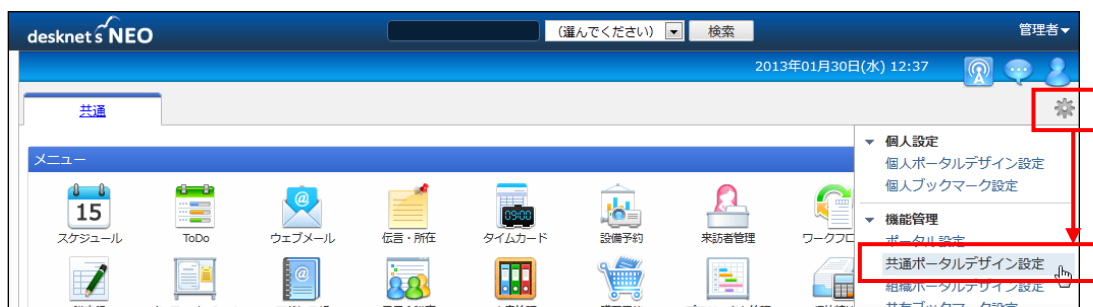
！ 注意事項

X-point のガジェットは、ドメイン設定のユーザサイトメニュー利用制限の対象外となります。特定のガジェットを非表示にしたい場合は個別に制御してください。

5.2. 共通ポータルへのガジェット追加

作成したガジェットを共通ポータルに追加します。ここでは“承認ガジェット”を追加します。

- 1) ユーザ・レベルが“システム管理者”であるユーザでログインします。
- 2) 設定はトップ画面の  より → “共通ポータルデザイン設定”を開きます。
“システム管理者”では無いユーザでログインすると“共通ポータルデザイン設定”の項目は表示されません。



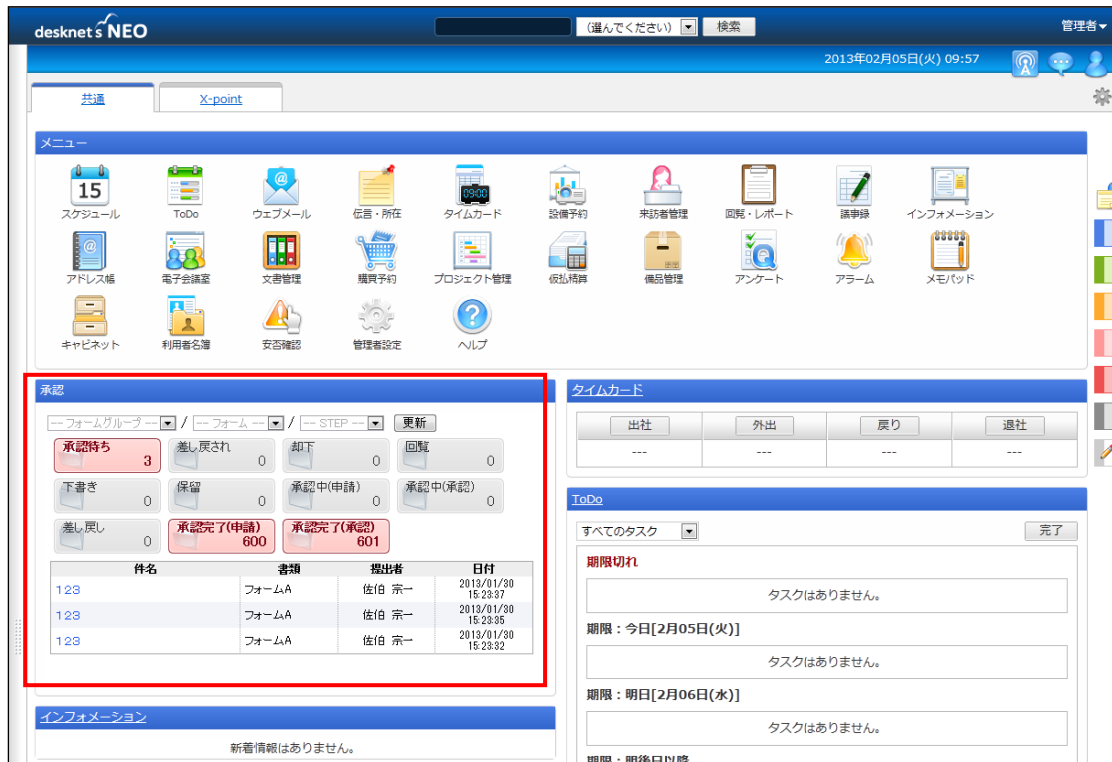
- 3) 自由形式の共有コンテンツ一覧より“承認”を探し、追加したい位置にドラッグします。



- 4) 「保存」をクリックします。



5) 共通ポータルを表示します。「承認」ガジェットが追加されています。



※ “共通ポータル”のレイアウトは“共通ポータルデザイン設定”で変更してください。

指定パラメータに誤りがある場合はガジェットのコンテンツ内にエラーメッセージが表示されます。

desknet's の設定内容、X-point の連携設定やユーザ情報の同期状態を確認してください。

- ・共有コンテンツ設定の「URL」に設定したパラメータが正しいか。
- ・共有コンテンツ設定の「シングルサインオン」が「行う」になっているか。
- ・同じ「ログイン ID」のユーザが X-point に存在するか。




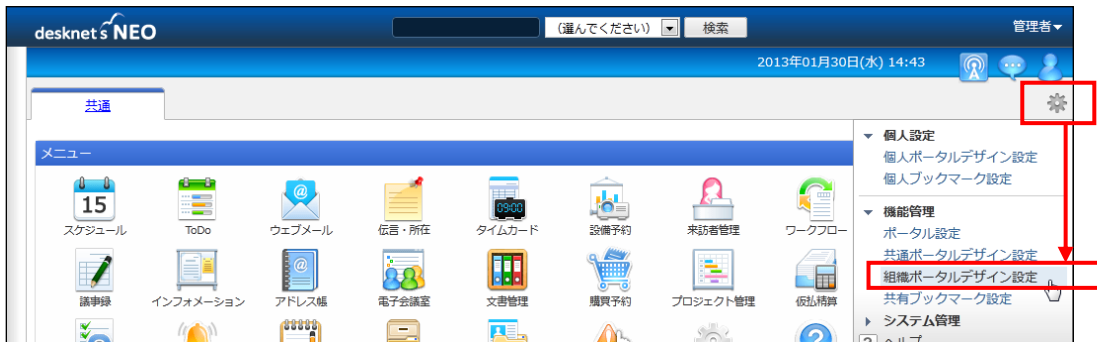
！ 注意事項

X-point のガジェットは、ドメイン設定のユーザサイトメニュー利用制限の対象外となります。特定のガジェットを非表示にしたい場合は個別に制御してください。

5.3. 組織ポータルへのガジェット追加

ユーザが所属する組織毎に利用可能となるポータルを作成します。組織ポータルを利用しない場合は本章の手順を実施する必要はありません。

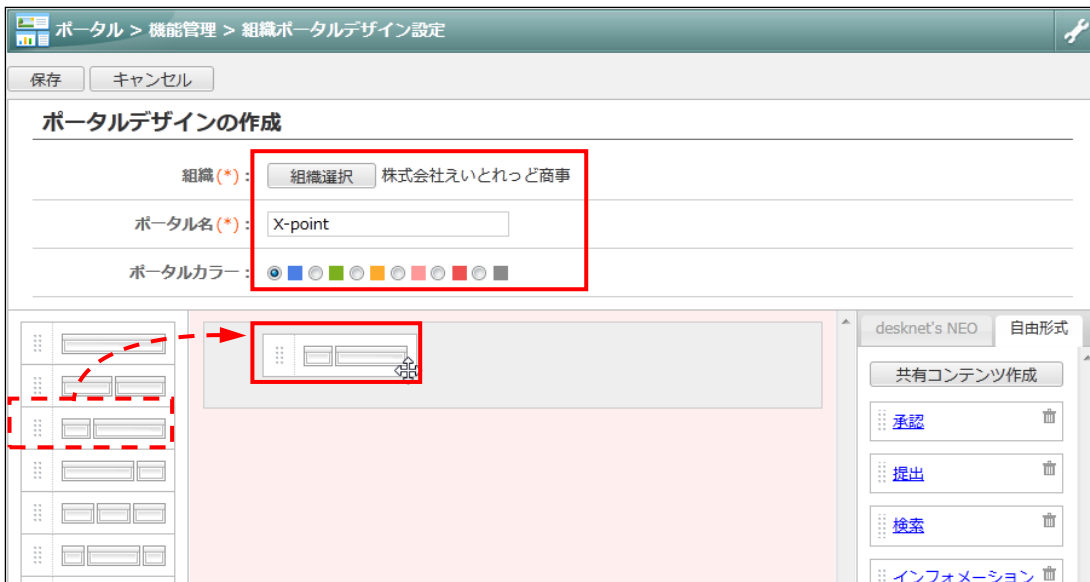
- 1) ユーザ・レベルが“システム管理者”であるユーザでログインします。
- 2) 設定はトップ画面の  → “組織ポータルデザイン設定”より行います。



- 3) 「ポータルの作成」をクリックします。



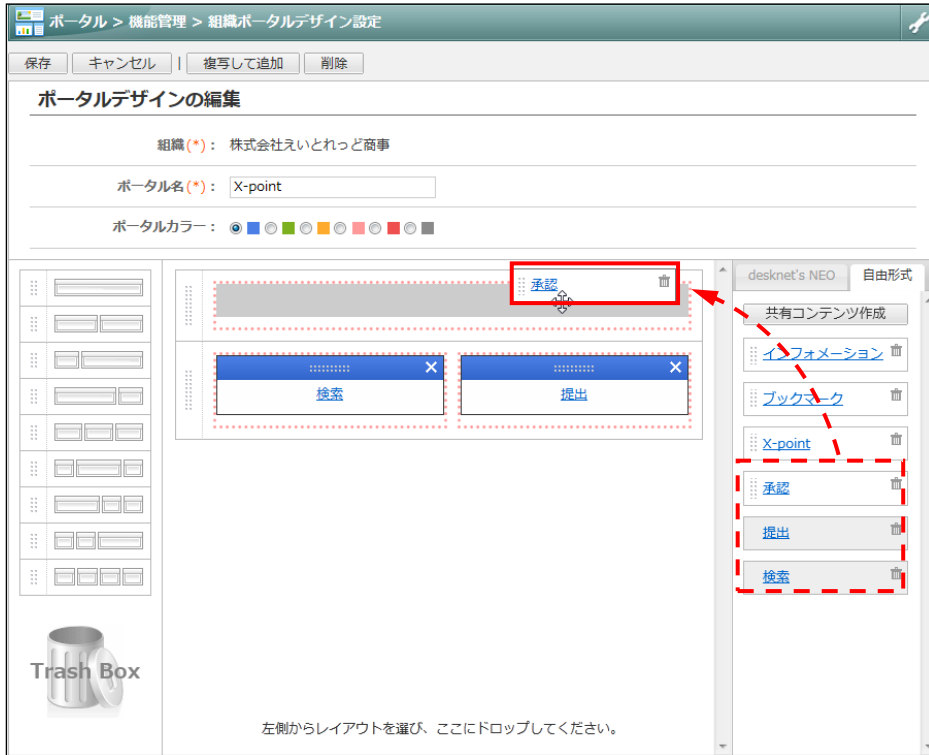
- 4) 組織ポータルを利用する組織、名称、ポータルカラーを設定し、任意のレイアウトをドラッグして決定します。



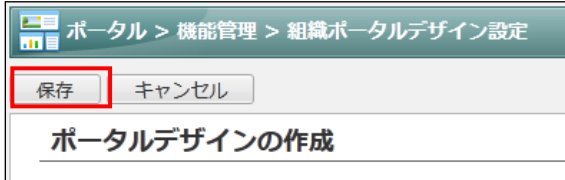
項目名	説明
組織	ポータルを利用するグループを指定します。
ポータル名	「X-point」等 分かりやすい名称を指定します。 既に同名のポータルが存在する場合はことなる名称を入力してください。
ポータルカラー	任意の色を指定します。
レイアウト	任意のレイアウトを指定します。

5) 追加したい位置にドラッグしてコンテンツを追加します。

ここでは例として承認、検索、提出のガジェットを追加します。



6) 設定が完了したら「保存」をクリックします。



7) トップ画面に遷移し、追加した組織ポータルにガジェットが表示されていれば完了です。



指定パラメータに誤りがある場合はガジェットのコンテンツ内にエラーメッセージが表示されます。

desknet's の設定内容、X-point の連携設定やユーザ情報の同期状態を確認してください。

- ・共有コンテンツ設定の「URL」に設定したパラメータが正しいか。
- ・共有コンテンツ設定の「シングルサインオン」が「行う」になっているか。
- ・同じ「ログイン ID」のユーザが X-point に存在するか。

The screenshot shows the desknet's NEO interface. At the top, there is a navigation bar with 'desknet's NEO' on the left, a search bar with '(選んでください)' and '検索', and a user profile icon labeled '管理者'. The date and time '2013年02月05日(火) 15:46' are displayed in the top right. Below the navigation bar, there are tabs for '共通' and 'X-point'. The main content area is titled '承認' and displays a system error message. The error message is as follows:

システムエラー	
以下のシステムエラーが発生しました。	
原因	ログインIDまたはパスワードが違います。
発生箇所	
発生日時: 2013/02/05 15:46:16	


Below the main error message, there are two smaller panels, one for '検索' (Search) and one for '提出' (Submit). Both panels also display the same system error message.

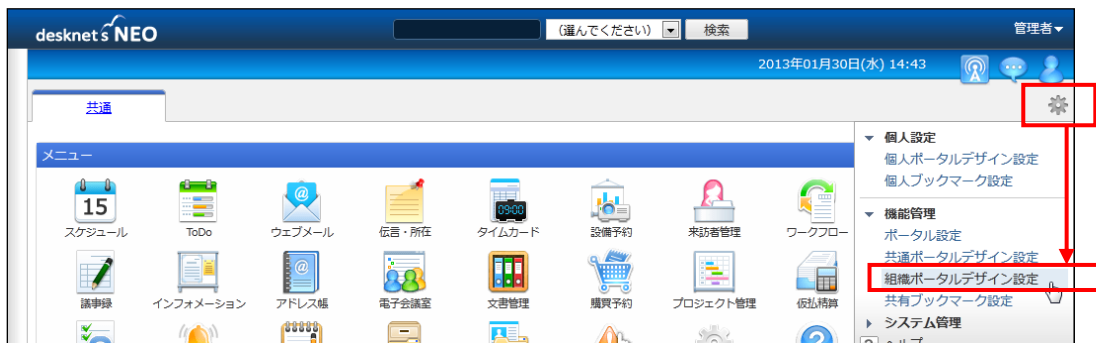
！注意事項

X-point のガジェットは、ドメイン設定のユーザサイトメニュー利用制限の対象外となります。特定のガジェットを非表示にしたい場合は個別に制御してください。

5.4. X-point 専用組織ポータル作成

組織ポータルを使いポータル全体に X-point を表示させることで、同一ウィンドウ内で X-point を利用することができます。通常の組織とは別に X-point を利用するユーザ向けのグループとして作成すると便利です。本ポータルは必要に応じ作成して下さい。

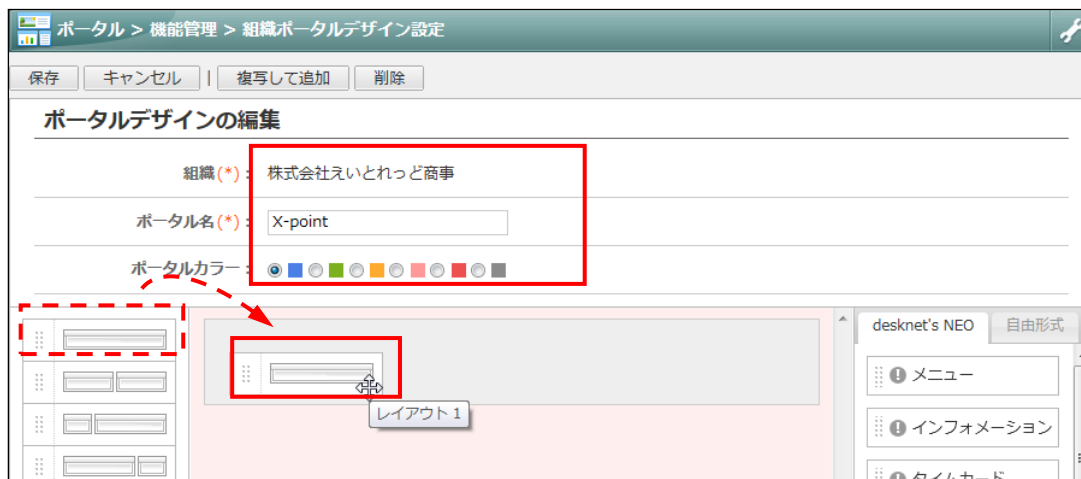
- 1) ユーザ・レベルが“システム管理者”であるユーザでログインします。
- 2) 設定はトップ画面の  → “組織ポータルデザイン設定”より行います。



- 3) 「ポータルの作成」をクリックします。



- 4) 組織ポータルを利用する組織、名称、ポータルカラー、レイアウトを設定します。



項目名	説明
組織	ポータルを利用するグループを指定します。
ポータル名	「X-point」等 分かりやすい名称を指定します。 既に同名のポータルが存在する場合はことなる名称を入力してください。
ポータルカラー	任意の色を指定します。
レイアウト	1列の幅が広いものを設定します。

5) 「自由形式」→「共有コンテンツ作成」をクリックします。



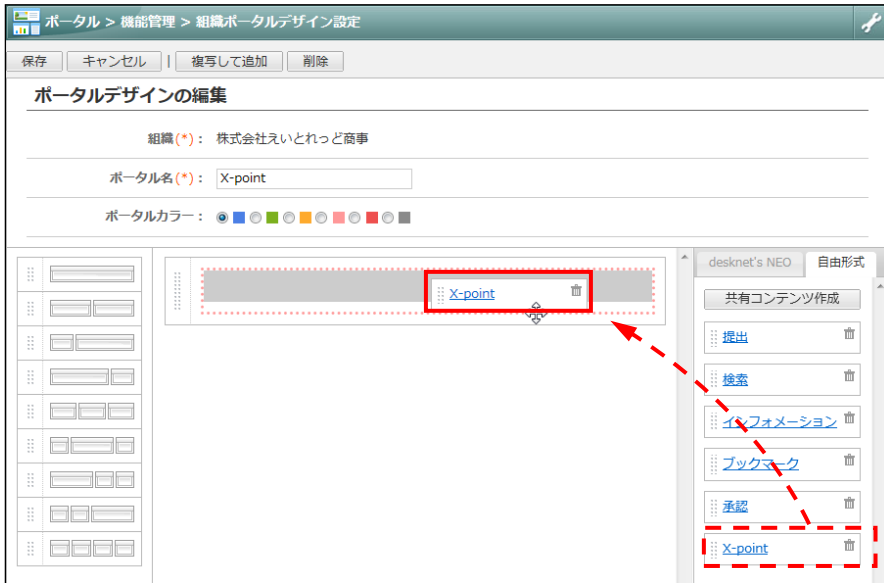
6) 種別を“URL”として共有コンテンツの設定を行い、「保存」ボタンをクリックします。



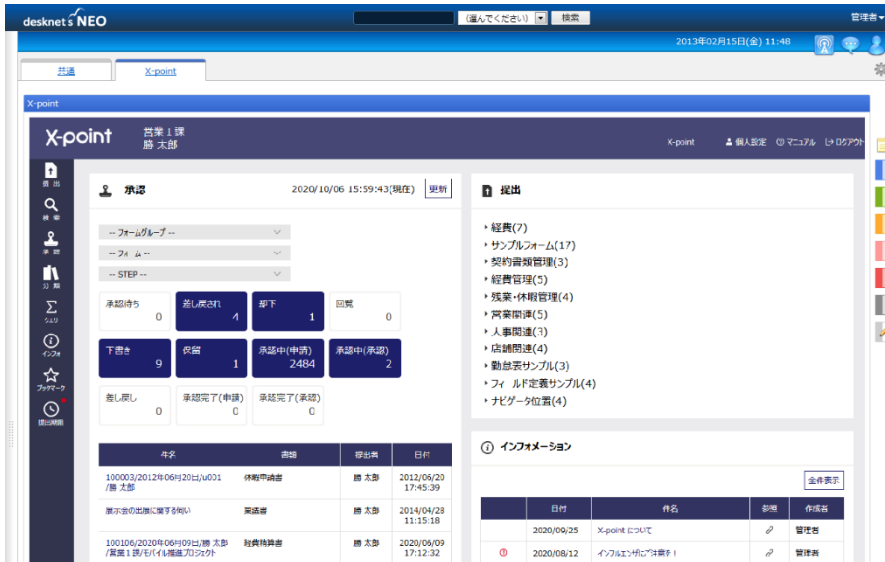
項目	
種別	「URL」
タイトル	“X-point”等の分かりやすい名称を入力します。
URL	<p>http://{subdomain}.atledcloud.jp/xpoint/ssologin.do?domainCd=domainName&LoginId=\$UID&Passwd=\$PWD</p> <p>※「http://{subdomain}.atledcloud.jp/xpoint/」の部分は実際の URL に合わせてください。 ※「domainName」は実際に利用するドメインコードに合わせてください。 ※ パスワード認証をしない場合「&Passwd=\$PWD」は不要です。</p>
フレームの高さ	“1000”
シングルサインオン	「行う」
送信方式	<p>「POST」を指定します。 ※ 項目が無いバージョンの desknets NEO では指定不要です。</p>
説明	<p>必要に応じて指定します。 【例】 通常の X-point 画面を表示させます。</p>

※ 「SSO 連携設定」画面下部の【desknet's NEO】ボタンをクリックすると設定例が表示されます。設定作業の参考にしてください。

7) 作成したコンテンツをレイアウトにドラッグし、「保存」ボタンをクリックします。



8) トップ画面に遷移し、追加した組織ポータルに X-point の画面が表示されていれば完了です。



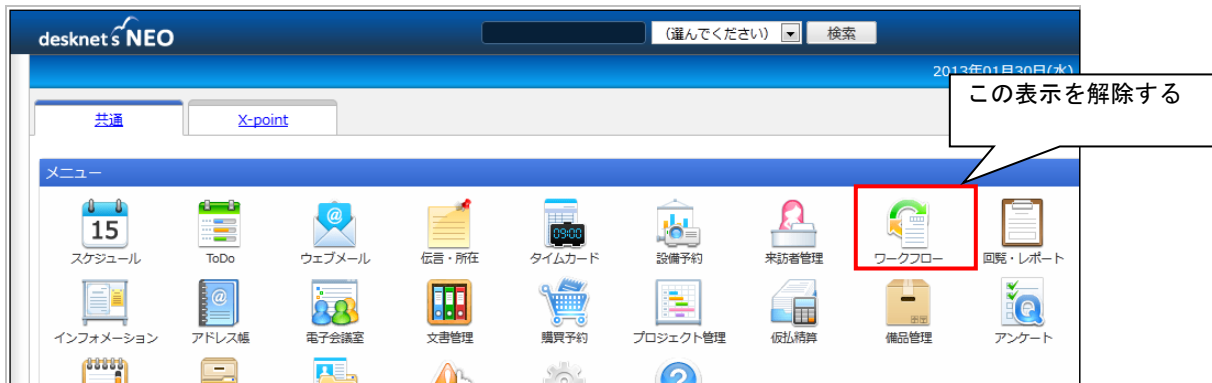
指定パラメータに誤りがある場合はシステムエラー画面が表示されます。
desknet's の設定内容、X-point の連携設定やユーザ情報の同期状態を確認してください。

- ・共有コンテンツ設定の「URL」に設定したパラメータが正しいか。
- ・共有コンテンツ設定の「シングルサインオン」が「行う」になっているか。
- ・同じ「ログイン ID」のユーザが X-point に存在するか。




5.5. desknet's ワークフローの解除

「desknet's NEO」の共通メニューに表示されている“ワークフロー”を解除します。「desknet's NEO」のワークフローを利用しない場合に行います。



5. 5. 1. desknet's NEO V1 の手順

- 1) ユーザ・レベルが“システム管理者”であるユーザでログインします。
- 2) “管理者設定”画面を表示して  → “運用設定” → “画面デザイン設定” → “メニュー設定”を開きます。



- 3) メニュー設定の一覧が表示されたら“ワークフロー”をクリックします。



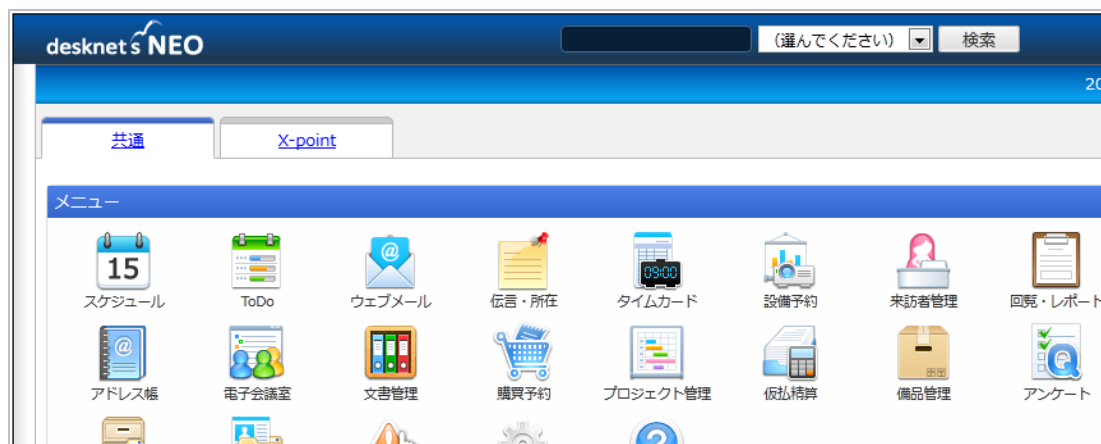
4) メニュー情報の編集で「表示/非表示」を「非表示」に切り替えて「保存」をクリックします。




5) メニュー設定一覧で「ワークフロー」欄が「非表示」に変更されたことを確認します。



6) トップ画面に戻り、共通メニューから「ワークフロー」が消えていれば完了です。



5.5.2. desknet's NEO V2 の手順

- 1) ユーザ・レベルが“システム管理者”であるユーザでログインします。
- 2) “管理者設定”画面を表示して  → “運用設定” → “メニュー設定” → “desknet's NEO メニュー設定”を開きます。



- 3) desknet's NEO メニュー設定の一覧が表示されたら“ワークフロー”をクリックします。



- 4) メニュー情報の変更で「使用有無」を“使用しない”に設定切り替えて「変更」をクリックします。

管理者設定 > 運用設定 > メニュー設定 > desknet's NEOメニュー設定

設定機能: 管理者設定

変更 キャンセル

メニュー情報の変更

設定対象: (共通メニュー)

機能名: ワークフロー

使用有無: 使用する 使用しない

例外的組織 (このメニューを使用する組織を選択)

以下に選択した組織が代表組織として設定されているユーザーは、このメニューは表示されます。

組織選択 選択を解除

該当するデータはありません。

起動方法: 同一ウィンドウで起動する
 別ウィンドウで起動する

変更 キャンセル

- 5) desknet's NEO メニュー設定の一覧で「ワークフロー」欄が“使用しない”に変更されたことを確認します。

管理者設定 > 運用設定 > メニュー設定 > desknet's NEOメニュー設定

設定機能: 管理者設定

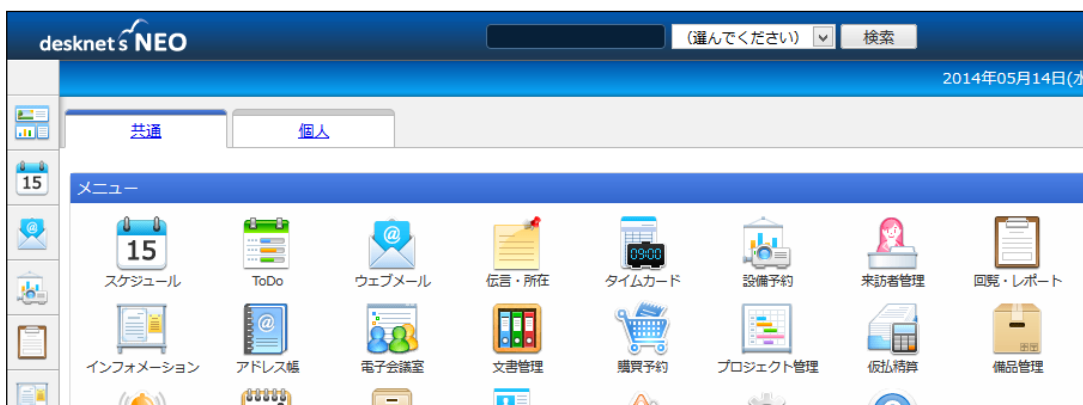
メニュー基本設定 パレットメニュー設定 共通パレットメニューデザイン設定 desknet's NEOメニュー設定 オプションメニュー設定

表示順変更

組織選択 (共通メニュー)

	使用	起動	機能名
<input type="checkbox"/>	使用する	同一	スケジュール
<input type="checkbox"/>	使用する	同一	ToDo
<input type="checkbox"/>	使用する	別	ウェブメール ※ 起動方法を変更する事はできません。
<input type="checkbox"/>	使用する	同一	伝言・所在
<input type="checkbox"/>	使用する	同一	タイムカード
<input type="checkbox"/>	使用する	同一	設備予約
<input type="checkbox"/>	使用する	同一	来訪者管理
<input type="checkbox"/>	使用しない	同一	ワークフロー
<input type="checkbox"/>	使用する	同一	回覧・レポート

- 6) トップ画面に戻り、共通メニューから「ワークフロー」が消えていれば完了です。



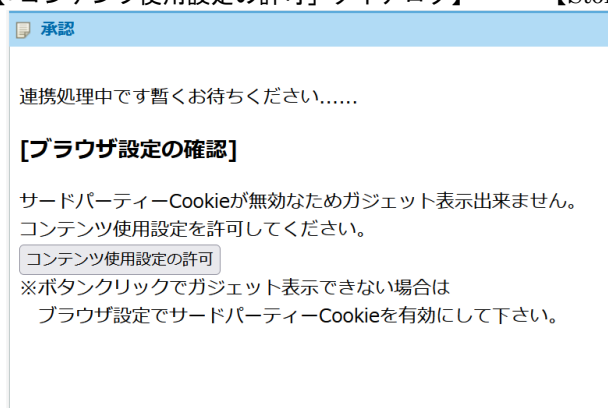
5.6. サードパーティーCookie が利用できない場合の動作

サードパーティーCookie が利用できない設定であるブラウザではポートを表示する事ができません。但し、Chrome/Edge/Firefox ブラウザで Storage Access API が利用できる場合は、ブラウザ操作者がコンテンツ使用を許可する事で本機能のガジェットを利用する事が可能になります。コンテンツ使用の許可はポートを表示する一連の動作に組み込まれています。

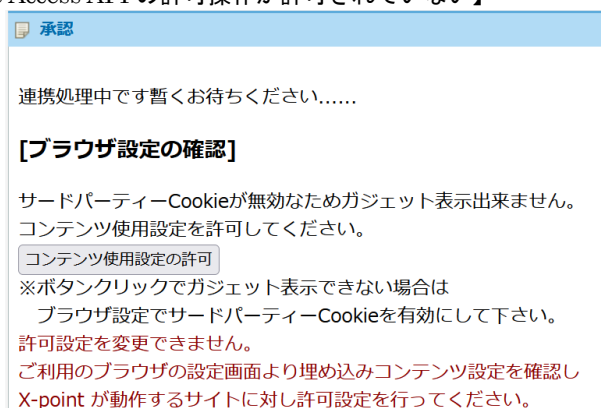
【許可動作の流れ】

1. Office・ガルーンから X-point のガジェット表示機能呼び出す
2. サードパーティーCookie の利用が許可されている ⇒ ガジェットを表示して終了
3. Storage Access API の利用が許可されている ⇒ ガジェットを表示して終了
4. ガジェット位置に「コンテンツ使用設定の許可」ダイアログが表示される
5. ユーザーが「コンテンツ使用設定の許可」をクリックする（必ず“人”が操作します）
6. ブラウザ設定で Storage Access API の許可操作が許されている ⇒ ガジェットを表示して終了
7. ブラウザ設定が Storage Access API の許可操作を許していない ⇒ ガジェットの表示は出来ません

【「コンテンツ使用設定の許可」ダイアログ】



【Storage Access API の許可操作が許可されていない】



Storage Access API の利用が許可されるとガジェットが表示されるようになります。複数のガジェットを表示する画面の場合は、一つのガジェットで許可を行うと他のガジェットも自動的に許可されます。

※ 自動で許可されない場合は、画面全体を再表示してください。

表示が許可された場合は 30 日以内に再利用する限り継続してガジェットが表示され表示の度に延長されます。30 日以内の利用が無い場合は再度コンテンツ使用の許可を求める表示が行われます。

6. 仕様

6.1. CSV ファイルと X-point 対応項目

6.1.1. ユーザ情報 CSV(user.csv)

No	CSV 項目名	X-point 対応項目	必須	備考
1	削除フラグ	インポート時の削除判断フラグ		・0の場合は登録、更新します ・1 or D or d の場合は削除します
2	ID(システムID:自動発番)	ユーザ:ユーザコード	●	・desknet's で自動的に採番される番号 ・desknet's と X-point のユーザ情報を紐付けるキーとして扱います
3	氏名	ユーザ:氏名 ユーザ:印影上の表示名	●	X-point ユーザの印影表示名が未設定の場合に、氏名の前側(半角・全角スペース区切りまで)を印影の名称として登録します
4	ふりがな	ユーザ:カナ		インポート時に「かな→カナ」変換
5	ログイン ID	ユーザ:ログイン ID	●	未設定のデータはエラーとします
6	ログインパスワード	ユーザ:パスワード		全て「*」の場合は不要
7	職場用メールアドレス	ユーザ:メールアドレス		
8	携帯用メールアドレス	—		
9	自宅用メールアドレス	—		
10	その他メールアドレス	—		
11	ユーザレベル	—		
12	事業所	—		
13	部署名1	—		
14	部署名2	—		
15	役職名	役職:役職名	●(※)	※役職コードを指定する場合は必須
16	役職コード	役職:役職コード		
17	部署電話番号1	—		
18	部署電話番号2	—		
19	内線	—		
20	職場携帯電話番号	—		
21	部署 FAX	—		
22	自宅電話番号	—		
23	個人携帯電話番号	—		
24	性別	—		
25	生年月日	—		
26	郵便番号	—		
27	住所	—		
28	言語	—		
29	タイムゾーン	—		
30	夏時間	—		desknet's NEO V2.0 からの項目です。V1.0 から出力する CSV には存在しませんが、そのままインポートが可能です。
31	使用停止フラグ	—		・desknet's NEO V2.5 からの項目です。V2.0 以前から出力する CSV には存在しませんが、そのままインポートが可能です。 ・desknet's の「使用停止」ユーザを X-point でもログイン拒否する場合は X-point の管理画面から個別に設定してください。
32	所属組織	ユーザ:所属ユーザグループ		
...				

6.1.2. 組織情報 CSV(group.csv)

No	CSV 項目名	X-point 対応項目	必須	備考
1	削除フラグ	インポート時の削除判断フラグ		・0の場合は登録、更新します ・1 or D or d の場合は削除します
2	ID(システムID:自動発番)	ユーザグループ:ユーザグループコード	●	・desknet's で自動的に採番される番号 ・desknet's と X-point の組織情報を紐付けるキーとし

				て扱います
3	組織名	ユーザグループ:ユーザグループ 名称	●	組織の名称
4	企業内組織コード	—		
5	連絡先	—		
6	メモ	ユーザグループ:備考		
7	親組織	ユーザグループ:親ユーザグループ		親組織の ID を入れておくと X-point 側で親子関係が作成されます
8	休日カレンダーID	—		desknet's NEO V4.0 からの項目です。
9	休日カレンダー下位組織 使用フラグ	—		V3.x 以前から出力する CSV には存在しませんが、そのままインポートが可能です。

6.2. CSV インポートで登録されない X-point のユーザ、グループ、役職情報

6.2.1. ユーザ情報

X-point 項目名	備考
役職	
通知メール(送信する/しない)	初期値:送信する
印影画像の使用(する/しない)	初期値:しない
印影画像	
備考	
ログイン拒否(する/しない)	初期値:しない
管理者権限	
予備項目 1~30	
チャットワーク API トークン	
チャットワーク通知ルーム ID_ワークフロー	
チャットワーク通知ルーム ID_コメント	
チャットワーク通知ルーム ID_提出期限	
チャットワーク通知ルーム ID_督促	

6.2.2. ユーザグループ情報

X-point 項目名	備考
カナ	
予備項目 1~15	

6.2.3. 役職情報

X-point 項目名	備考
カナ	
備考	

■改訂履歴

改版	改版内容
2021年4月1日版	初版リリース
2022年3月14日版	マニュアルタイトル等の各部の名称を変更
2022年4月5日版	対応環境に「desknet's NEO small / ENT V7.」を追加。 「1.3 desknets NEO 動作環境」の項を削除(X-point Cloud 環境では必要ない項目のため) 共有コンテンツ設定の URL 説明記載を「 http://[subdomain].atledcloud.jp/xpoint/ 」に変更 共有コンテンツ設定で「送信方式」指定がある場合の指定を追記
2023年4月3日版	desknet's NEO V7.5 におけるユーザーCSV フォーマットに関する記載を追加
2023年8月22日版	「1.2.(3) 一致しなければならないユーザ情報」 ユーザコードとユーザグループコードの目的について追記
2024年11月18日版	サードパーティーCookie が利用できない場合の動作を追記
2025年10月6日版	「1.1.実現できる機能」「5.1.ガジェットの作成」「5.2.共通ポータルへのガジェット追加」「5.3.組織ポータルへのガジェット追加」 ・注意事項欄に X-point のガジェット表示制御の制約を追加
2025年10月21日版	「6.1.CSV ファイルと X-point 対応項目」各 CSV ファイルの必須 CSV 項目を追記
2026年1月8日版	「3.3.X-point にユーザ・組織情報を CSV インポート」設定項目と説明の追加、キャプチャ差し替え 「3.4.2.ユーザ・グループの取込方式」差分インポートについて説明を追記